

日蓮聖人門連だより

発行
日蓮聖人門下連合会
〒146-8544
東京都大田区池上1-32-15
電話 (03) 3751-7181
https://nichiren-monka.org

令和7年2月16日
第71号

法華宗(本門流)管長就任挨拶

法華宗(本門流)管長
大本山光長寺第八十世貫首

久保木日將



このたび、令和六年十一月十三日をもって、法華宗(本門流)第四百四十二代管長に就任いたしました。岡宮・光長

寺貫首の久保木日將でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。

光長寺は建治二年(一二七六)、御開山である日蓮大聖

人の命により、直弟の日春聖

人と日法聖人のお二人が協力

して開創されました。鎌倉往

還の要衝である駿州岡宮に本

尊堂を建立されたのは、宗祖

御年五十五歳の時でした。

日蓮本宗管長就任挨拶

日蓮本宗管長

岩崎日求



本山要法寺第53祖の猊座に登りました岩崎日求でございます。

令和6年5月7日、第52祖丹治日遠上人から唯授一人の血脈相承を拝受、要法寺第78代の大学頭に就任し日遠上人

の補処としての法務に従事させて頂きました。

同年5月22日に第51祖日有

上人の本葬儀を終えられた

後、日遠上人は体調を崩され

入退院を繰り返されるように

なり、日増しに弱られていく

のを目の当たりにしました。

そのような御姿を見るに忍

びなく、内局声をそろえて「猊

下どうぞご無理なさいませ

ように10月の座替わり法要も

ございますので朝勤もお休み

くださいますようお願いを

日春聖人は、もとは天台宗の僧侶で「空存」と名乗って

いましたが、法華経に帰依し

た際に日蓮大聖人より「日春」

の名を賜りました。当山では、

日法聖人とともに「同時二祖」

として尊称しております。そ

の後、日春聖人は岡宮の地で

布教に専念されました。

日法聖人は、幼少の頃(幼

名・熊王丸と伝わっておりま

す)より日蓮大聖人に隨身給

仕し、宗祖を深くお支えしま

した。龍ノ口法難の際には、

宗祖の使いとして四条金吾に

急報したのが日法聖人である

と

大切にして下さい」と申し上げ

ても、日遠上人は退院され

てこられると一日も休まれず

杖をつきながら朝勤に上がら

れておりました。

9月に入ると歩くこともま

まならず、声もかすれて聞こ

えないくらいになりました

が、それでも9月6日の教師

研修会には気迫のこもった御

遺文講義を行われ、あとは10

月の座替わりを待つばかりと

いうところでしたが、残念な

がら令和6年9月23日、第52

祖日遠上人は84歳にして御

遷化されることとなってい

ました。

同年10月13日、本山要法寺

に於いて襲座法要を奉修、そ

といわれています。さらに、宗祖の御遷化にも参じ、守塔輪番にも参籠しました。また、日法聖人は彫刻に秀でており、「彫刻日法」とも称されました。

光長寺には、鎌倉時代後期の貴重な書物や宝物が多く伝えられています。特に、現存するものの中で最大幅を誇る二十八紙大曼荼羅をはじめ、宗祖御真筆の本尊を計五幅格護しています。なお、二十八紙大曼荼羅がご染筆された弘安元年(一二七八)十一月二十一日にちなみ、毎年この日に御本尊を開帳する「虫干会」を厳修しております。この法要には、宗祖より御本尊を授かった藤太夫日長の子孫である第三十三代渡邊藤樹氏とその一族をはじめ、多くの

の座で要法寺嗣法第53祖貫首、日蓮本宗管長に就任させていただきます。不肖、岩崎日求は浅学非才にして徳も薄く、その器になんとして自分自身がよく知るところは思いましたが、日蓮大聖人、日興上人、日目上人、日尊上人と連綿と続いてきた要法寺の血脈相承を絶やすわけにはいかず、誠に恐れ多いことながら法灯を継承させて頂いた次第です。

これからの宗門はどうあるべきか、どう進むべきかを見極めながら前に進んで参りたいと思っております。ご指導、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

方々が参拝し、御本尊の霊風に浴しております。

『立正安国論』において、

日蓮大聖人は妙法流布の必要

性について説かれています。

僧侶(能化)は、法華経の教

えにあるように、すべてのも

のに慈しみの心をもって接す

ることが大切であり、混沌と

した現代社会を浄化すること

が使命であると考えます。そ

して法華信徒(所化)は、こ

の教えを受け継ぎ、実践しな

ければなりません。すべての

人々を尊び、互いに助け合う

ことが求められています。そ

のためには、大聖人のご教導

に従い、お題目を信じ、唱え

唱えて聞かず「聞法下種」の

行を実践し、多くの人々に法

華の教えを伝えてまいりたい

と思ひます。

どうか皆様のご指導、ご支

援を賜りますよう、心よりお

願い申し上げます。

本門佛立宗講有就任挨拶

本門佛立宗講有

木村日覚



ありがとうございます。

私儀、今般本門佛立宗、

講有位を佛立第二十六世講有

高須日良上人より遺囑伝承を

受け、第二十七世講有に晋位

させていただきました。

もとより、その任に耐え得

るとは存じませんが、御法の

ご加護のもと、信心改良死身

弘法の覚悟でご奉公を全うす

べく、精進いたします。

本門佛立宗としては、日蓮

聖人御降誕八〇〇年慶讃ご奉

公を円成し、来るべき日蓮聖

人七五〇回御遠諱に向けての

報恩ご奉公をスタートいたし

ました。

この勝縁に、講有位の継承をさせていただいたことは、大果報であるとともに、その重責を担うべく、襟を正し、日蓮聖人の御弟子且那としての本分を全うせんと心新たにいたしております。

折しも世情は、国内外ともに多事多難時であり日蓮聖人ご在世同様、末法悪世の様相を呈しており、宗教者として果たす役割はますます重大なものとなっております。

そこで、当宗としても教務・信徒ともに信心改良し、菩薩行の精神を遺憾なく發揮し、世界平和確立、人心安寧に向けて、一人一人が日蓮聖人の誠の御弟子且那として、堂々と報恩の誠を尽くせるよう教導してまいります。

以上、粗辞ではありますが、佛立第二十七世講有位晋位の挨拶とさせていただきます。合掌

從地ゆじゅつ

◆歌舞伎座で上演されていた「壽新春大歌舞伎」を観劇した。夜の部では、「熊谷陣屋」、「一人椀久」、「大富豪同心」の三幕が披露された。

◆熊谷陣屋は伝統的な名作で、太夫の語りや三味線の音色が観客を物語に没入させるという点は、まさに歌舞伎の醍醐味だった。

◆大富豪同心はもともBS放送のドラマとして親しまれていた作品が、今回新作歌舞伎として上演された。現代の観客にも新鮮な驚きを与える試みとして注目された。

◆古典と新作の融合は古典と新作が同じ舞台で並ぶことで、伝統と現代の繋がりを感ぜられる構成が魅力的だった。観客層も幅広く、歌舞伎を熟知している方から、ドラマをきっかけに観劇に訪れた方まで多様である。松竹が創業130周年を迎える中、「伝統」と「革新」を大舞台で表現している点が印象的だった。

◆6年後には日蓮聖人の750遠忌を迎え、門下の各宗派が報恩謝徳の行事や事業を展開する一方で、現代の宗教は、信仰者の減少や寺院の存続、葬式仏教化の見直し、宗教と現代社会の価値観の違いなど、さまざまな課題に直面している。

◆仏教の未来は、伝統を守りながらも、時代の変化に柔軟に適応できるかどうかにかかっているのではないかと。

◆組織や教団が社会へ発信することの重要性は言うまでもない。しかし、役者や僧侶が伝統文化の真髄を守りつつ、次の時代へ継承していくためには、変化を恐れず、現代の息吹を柔軟に取り入れ、世の中にその価値を表現し、伝えていくことが何よりも大切であると感じた。(徳)

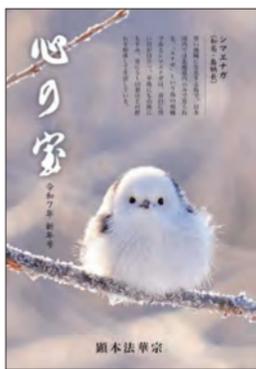
各派機関誌紹介

①機関誌名 ②発行回数 ③頒布(価格) ④内容 ⑤問い合わせ先

昨今、SNS等の普及をはじめとして情報発信の方法は多種多様となっているが、直接手に取り、繰り返し日蓮聖人の教えに触れることのできる『機関誌』は布教に於いて欠かせない、大切な媒体である。

今号では加盟各教団が発刊している機関誌を紹介する。是非、手にとり、各派の情報交換、相互理解を深めると共に今後の布教の一助としていただきたい。

顕本法華宗



①布教誌『心の宝』
②年4回発行
③本宗檀信徒のみ
④管長祝下をはじめ本宗の僧員が、教義や歴史、仏教Q&Aなどをわかりやすく説明したり、総本山妙満寺の年中行事や宗門の行事などの情報を掲載しています。季刊誌として、表紙で季節を感じていただけるような写真選びは、ひそかなこだわりです。宗門HP内の仏教コラムにて過去アーカイブが一部閲覧可能ですので、「顕本法華宗」で検索、または下記QRコードよりアクセスしてください。

法華宗(陣門流)



①布教誌『宝塔』
②年4回発行
③1冊70円
④管長祝下をはじめ宗門職の諸師による「巻頭言」、新潟県三条市・本成寺の行事を紹介する「総本山だより」、宝塔通信員(各教区の住職・教師に委嘱)がニュースを届ける「教区通信・トピックス」や御遺文解説などの連載。ネパール寺院の活動報告である「ティラウラコットをゆく」といった特集。記事の他、短歌・俳句・クイズなどで構成。宗門の情報を広く共有し、檀信徒に「法華信者の正しい姿勢」を自覚させることを目的としています。
〒170-0002
東京都豊島区東鴨5-35-6
法華宗宗務院内 宝塔編集室

本門佛立宗



①『だいほうこう』
②年4回(1・4・7・10月)
③年間3000円(送料込み)
④宗内外の方、どちらにも楽しんでいただけるコラムや、ご利益談。お悩み相談や教養コーナー。国内外のご弘通現場での様々な工夫や取り組みなどを取材し、デザイン性も重視して、盛りだくさんの内容でお届けしております。
⑤宗務本庁広報局(電話番号075-461-7424 FAX番号075-464-5599 E-mail: kouhou_k@honmon-butsuryushu.or.jp)

日蓮本宗



①教誌『要法』
②年2回(1月・8月)
③宗門檀信徒向けで一般頒布はしていません。
④通算第440号を数える宗門機関紙。本山・末寺の行事、教えや伝記などを分かりやすく伝える連載、檀信徒紹介、俳句投稿、書き初め作品掲載など、約18頁の構成内容で発行されています。

法華宗(真門流)



①『慧光』
②年4回発行
③希望者には頒布可能
④宗門行事や本山・門末寺院の活動報告をはじめ、御遺文の解説、布教師の法話、くらしに役立つ情報など多岐にわたる記事を掲載。真門流の今をお伝えしています。
⑤法華宗(真門流)宗務庁内 慧光編集部
電話075-441-5762

本門法華宗



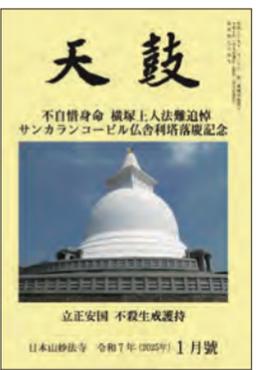
①本門法華宗機関紙『信行』
本門法華宗布教誌『生きる』
②年2回(1月1日・7月1日発行)
③頒布不可
④『信行』は主に宗内の時事を報じる。
『生きる』は檀信徒への布教化。

国柱会



①『真世界』
②年12回(毎月1回発行)
③3000円(税込み)
一般購読できます。
④明治19年6月創刊の「立正安国会報告」より続く教団の定期刊行機関誌です。誌名「真世界」は昭和25年1月号が初出で、円融統一の真理にもとづき、自他、物と心、人間と自然、宗教と科学が一如する世界を意味します。
〒132-0024
東京都江戸川区一之江6丁目19番18号
宗教法人国柱会 本部事務局
電話 03-3656-7111
E-mail info@kokuchukai.or.jp

日本山妙法寺



①日本山妙法寺大僧伽機関誌『天鼓』
②月刊誌
③1冊500円(年間6千円)
④内容は、日本山妙法寺藤井日達山主の法話の掲載。山内の仏事の案内等。
どなたでも購読できます。
〒150-0045
渋谷区神泉町8-7
日本山妙法寺
電話03-3461-9363
FAX 03-3461-9367
Email: nqhi0948@nifty.com

日蓮宗



①『日蓮宗新聞』
②年36回(月3回)
③年間3600円(送料込み)
④日蓮宗宗務院が発信した方針や事業などの報告をはじめ、全国の「通信員」の送稿により幅広いニュースを掲載。他、コラム等で法華経や日蓮聖人の教えから、時事問題を読み解いている。
⑤日蓮宗新聞社営業部
03-3755-5271(代)

正法



①『正法』
②年4回(お正月・春彼岸・お盆・秋彼岸お会式)
③年間1700円(送料込み)
1部の場合350円+送料別途。100部以上は割引あり。
④日蓮宗教師(僧侶)はもとより、檀信徒や日蓮宗に関心をもつ一般の方々にも広く読まれることを期待し、法華経の解説、日蓮聖人ご遺文の解説をはじめ、時事を鑑みた特集を組んでいる。
⑤日蓮宗新聞社営業部
03-3755-5271(代)

日蓮宗宗務院

管 長 菅野日彰 財務部長 笠井照永
 宗務総長 田中恵紳 宗務総長室長 秋山文裕
 伝道局長 柳下俊明 禊宗教研究所長 赤堀正明
 総務局長 光岡潮慶 参 与 渡邊義生
 伝道部長 長谷川雄一 参 与 田中智海
 教務部長 川久保光隆 日蓮宗新聞社長 田邊木蓮
 総務部長 畑 栄明

〒146-8544 東京都大田区池上一-三二-一五
 電話 〇三(三三五)七七八一
 FAX 〇三(三三五)七七八六
<https://www.nichiren.or.jp>

法華宗(本門流)宗務院

管 長 久保木日將
 宗務総長 金井孝顕
 教学部長 松井正孝
 布教部長 三吉廣明
 総務部長 平田義生
 財務部長 久野晃秀
 企画部長 吉崎長生

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二一九-一
 電話 〇三(五六)三〇五五
 FAX 〇三(五六)三〇五六
<http://www.hokkeshu.or.jp>

顕本法華宗宗務院

管 長 大川日仰
 宗務総長 秋葉敬真
 宗務次長 津村乗信
 庶務部長 秋山事遷
 布教部長 川崎英真
 社会部長 中村文治
 財務部長 島田誠岳
 教務部長 藤崎裕学

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
 電話 〇七五(七九)七二七一
 FAX 〇七五(七九)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

管 長 鈴木日慧
 宗務総長 西山英成
 総務部長 牧野秀宜
 企画部長 金原孝達
 財務部長 西山聡高
 教学部長 布施義高
 教化部長 松吉慶憲
 宗務参事 田中隆寛
 宗務参事 田内孝照
 宗務参事 竹内敬雅

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨五-三五-一六
 電話 〇三(三九)七二九〇
 FAX 〇三(三五)七六〇二

本門佛立宗宗務本庁

宗務総長 亀井日魁
 宗務副総長 植田日事
 宗務副総長 豊田榮次
 教育局長 高須日因
 弘通局長 岡居日実
 総務局長 藤本日唱
 広報局長 指田日行
 財務局長 姫野正文

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る東堅町一〇番地
 電話 〇七五(四六)一六六代
 FAX 〇七五(四六)五九九九

日蓮本宗宗務院

管 長 岩崎日求
 宗務総長 西尾弘道
 財務部長 柳下真敬
 総務部長 柳下真敬

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八
 電話 〇七五(七七)三三九〇
 FAX 〇七五(七七)五九一四
<http://honzanyoboji.or.jp>

法華宗(真門流)宗務庁

管 長 上田日献
 宗務総長 堀内浩善
 総務部長 坂本法保
 教学部長 峰尾泉栄
 教化部長 舟積法宏
 社会部長 水野智悠
 財務部長 堀野雅博

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上元紋屋町三三〇
 電話 〇七五(四四)五七六二
 FAX 〇七五(四四)五六六六

本門法華宗宗務院

管 長 別所日山
 宗務総長 香川日憲
 総務部長 増田日倫
 宗務部長 吉村日彦
 財務部長 高邊晶啓
 教務部長 山下揮正
 庶務部長 松本真隆

〒602-8418 京都市上京区寺之内堀大宮東入大本山妙蓮寺内
 電話 〇七五(四五)三三二七
 FAX 〇七五(四五)三五九七

宗教法人 国柱会

賽主 田中壮谷
 理事長 松浦正
 門連理事 森山真治
 門連理事 藤本坦孝
 編集委員 的場春奈

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一一九-一八
 電話 〇三(三五六)七二二(代)
 FAX 〇三(三五六)九九八〇
<http://www.kokuchukai.or.jp>

日本山妙法寺大僧伽

首 座 木津博充
 責任役員 川岸行孝
 同 武田隆雄
 同 長濱行豊
 同 行德行得

日本山妙法寺大僧伽事務局
 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町八一七
 電話 〇三(三四)九三六三
 FAX 〇三(三四)九三六七

京都日蓮聖人門下連合会

会 長 瀬川日照
 副会長 岩崎日求
 理事長 小田和幸
 副理事長 西尾弘道

京門連事務局
 〒606-8376 京都市左京区二条通川端東入頂妙寺布教会館内
 電話 〇七五(七六)二四一一
 FAX 〇七五(七五)九三三八

大阪日蓮聖人門下懇話会

理事長 藤本経尚 問 門谷光瑞
 副理事長 森田進 問 中村日游
 顧問 木下恵温 問 東孝信
 顧問 藤村恵容 問 伊藤信城
 顧問 松井英光

〒580-0044 大阪府松原市田井城五一三-二九
 電話 〇七二(三三)四四一四
 FAX 〇七二(三三)六三三九

「共に生き 共に栄える
共栄運動推進中」

日蓮宗総本山 身延山久遠寺

法主 持田日勇
総務 浜島典彦

〒409-2593 山梨県南巨摩郡身延町身延三五六七
電話 〇五五六(六二)一〇一一
FAX 〇五五六(六二)一〇九四

日蓮宗大本山 池上本門寺

貫首 菅野日彰
執事 木内隆志
役員一同

〒146-8576 東京都大田区池上一一一一
電話 〇三(三七五二)一三三三
FAX 〇三(三七五二)三三五〇

法華宗(本門流)大本山 本能寺

貫首 桃井日英
執事 佐藤泰慎
役員一同

〒604-8901 京都府京都市中京区寺町通御池下る
電話 〇七五(二三)五三三五
FAX 〇七五(二二)二八三八

顕本法華宗総本山 妙満寺

貫首 大川日仰
参務 土持栄孝
参事 秋葉敬真
参事 三坂岳應
参事 橘無我
執事 湯原正純
執事 足立幸謙
執事 澤地真也

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
電話 〇七五(七九)七七一
FAX 〇七五(七九)七二六七

法華宗(陣門流)総本山 本成寺

貫首 鈴木日慧
寺務所員一同

〒955-0845 新潟県三条市西本成寺一一一一〇
電話 〇二五六(三三)〇〇〇八
FAX 〇二五六(三三)〇〇五九

法華宗(真門流)総本山 本隆寺

貫主 上田日猷
執事 永岡悠希
執事 笹木研吾
執事 矢放啓亮
参事 本多信正
参事 本多信正

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇
電話 〇七五(四四)五七六二
FAX 〇七五(四四)五六六六

本門法華宗大本山 妙蓮寺

貫首 別所日山
執事 末本樹哉
役員一同

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東妙蓮寺前町八七五
電話 〇七五(四五)三五二七
FAX 〇七五(四五)三五九七

多寶富士山 本山要法寺

貫首 岩崎日求
執事 西尾弘道
執事 柳下真敬

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八
電話 〇七五(七七)三三九〇
FAX 〇七五(七七)五九一四
HP honzanyobojor.jp

本門佛立宗本山 宥清寺

住職 木村日覚
二十七世講有
執事 増永清光
事務局長 栢森良道

〒602-8336 京都市上京区一条通七本松西入滝ヶ鼻町一〇〇五一
電話 〇七五(四六三)四六二〇(代)
FAX 〇七五(四六三)四六五一

京都八本山会

会本・本山 本法寺 貫首 瀬川日照
大本山 妙顕寺 貫首 及川日周
大本山 本隠寺 貫首 早川日章
本山 妙覺寺 貫首 宮崎日嚴
本山 頂妙寺 貫首 田中日淳
本山 立本寺 貫首 風間日宏
本山 本満寺 貫首 伊丹日顕
本山 妙傳寺 貫首 近藤日康

京都 法華門流懇話会

法華宗(真門流) 総本山本隆寺 貫主 上田日猷
法華宗(真門流) 総本山妙満寺 貫首 大川日仰
法華宗(本門流) 大本山本能寺 貫首 桃井日英
本門法華宗 大本山妙蓮寺 貫首 別所日山
法華宗(陣門流) 本山本禪寺 貫主 赤塚日辰
本門佛立宗 山宥清寺 講有 木村日覚
顕本法華宗 山寂光寺 貫首 大川日仰
日蓮本宗 山要法寺 貫首 岩崎日求

日蓮宗大本山 日蓮聖人出家得度の霊場 千光山 清澄寺

別當 齊藤日敬
執事 宮崎雅宣

〒299-5505 千葉県鴨川市清澄三二二一一
電話 〇四(七〇九四)〇五二五
FAX 〇四(七〇九四)〇五二七

宗祖御降誕霊場 日蓮宗大本山 誕生寺

貫首 片桐日岳

〒299-5501 千葉県鴨川市小湊一八三
電話 〇四(七〇九五)二六二一
FAX 〇四(七〇九五)二〇五五

日蓮宗霊跡本山比企谷 妙本寺

貫首 鈴木日敬

〒248-0007 神奈川県鎌倉市大町一一一五一
電話 〇四六七(二二)〇七七七
FAX 〇四六七(二五)六九六七

日興上人御聖廟 日蓮宗大本山 富山法華本門寺根源

貫首 旭日重
参与 鈴木春雄
執事 鈴木春雄
役員一同

〒418-0112 静岡県富士宮市北山四九六五
電話 〇五五四(五八)一〇〇四
FAX 〇五五四(五八)〇三〇三

日蓮宗大本山 中山法華経寺

貫首 新井日湛
参事 植田観樹
参事 松本慈恵
参事 關田観亮
参事 土田恵敬
参事 松永慈弘

〒272-0813 千葉県市川市中山二一〇一一
電話 〇四七(三三四)三四三三
FAX 〇四七(三三四)一七九六

やくよけ祖師 日蓮宗本山 堀之内妙法寺

山主 山田日潮

〒166-0013 東京都杉並区堀之内三十四八八
電話 〇三(三三三)六二四一
FAX 〇三(三三三)五〇〇七

日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗本山東身延 藻原寺

貫首 持田日勇
総務 増田寶泉
執事 富永一道
執事 中川貫泰

〒297-0026 千葉県茂原市茂原一一一〇一
電話 〇四七五(二二)三一五三
FAX 〇四七五(二二)一一七三

徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 除厄安産飯匙の祖師・七面大明神奉安 瑞輪寺

貫首 井上日修
執事 稲荷泰雅

〒110-0001 東京都台東区谷中四一三二一五
電話 〇三(三八二)四三七三
FAX 〇三(三八二)七〇三三



門連時報

京都理事会開催さる

令和6年11月27日(水)、本門法華宗大本山妙蓮寺において、日蓮聖人門下連合会京都理事会が開催され、全門連並び京都門下連合会各聖等、61名が参加した。

午後1時30分、妙蓮寺貫首別所日山猥下を大導師に、副導師には京門連理事長の末本樹哉上人、同じく副理事長の小田和幸上人を仰ぎ、参加者一同が本堂に参列して法味を言上した。その後、会場を京都ブライトンホテルに移し、別所日山猥下より「日像菩薩と卯木山妙蓮寺」と題した講演がなされた。

京都日蓮聖人門下連合会事業開催

日蓮大聖人御報恩御会式

10月5日(土)、秋空の穏やかな天候に恵まれた中、京都市上京区本門法華宗大本山妙蓮寺(別所日山貫首)にて、京都日蓮聖人門下連合会主催、京都日蓮聖人門下本山会後援のもと、「日蓮大聖人第743遠忌報恩御会式」が行われ、檀信徒、関係各聖約150人が参詣した。

法要に先立ち、行脚隊や万灯行列など総勢50名が妙蓮寺周辺を練り歩いた。京の街に響き渡る太鼓の音とお題目の声が、道行く人々や玄関先で手を合わせる家族の姿を引き寄せた。また、法要前には、日蓮宗本



山頂妙寺田中日淳貫首が法話をし、「南無妙法蓮華經の教えは信仰によって実を結びます。」

午後4時30分、田中恵紳理事長が座長となり理事会が開会。まず、事務局より上半期の事業報告がなされ、その後、京都門下連合会、大阪門下懇話会よりそれぞれ活動報告がなされた。

また、「その他」の議題では日蓮聖人七百五十遠忌に向けた事業について意見交換がなされた。

理事会終了後、午後5時30分より懇親会を開催。和やかな雰囲気の中、出席者同士が親睦を深め、有意義なひと時を過ごした。

南無とは精進することです。皆様もお題目の信仰をこれからも精進して続けてください。」と参拝者たちは、その言葉に熱心に耳を傾けていた。

法要では、日蓮聖人への報恩を込め、別所日山猥下を大導師に厳かに法要が執り行われた。法要中には御遺文「報恩抄」の一節「南無妙法蓮華經は万年の外、未来までもながるべし」が僧俗一体となって唱えられ、その響きは堂内に満ち、日蓮大聖人への感謝と信仰の心が深く刻まれた一日となった。

大阪日蓮聖人門下懇話会活動報告

令和6年度より理事長が任期満了により交代し、日蓮宗善宗寺住職・藤本経尚師が新理事長に就任した。

○7月5日 総会

於 ハイハイタウン天山閣

於 松原市・善宗寺

導師・理事長 式衆 日蓮宗

会員 参列各宗理事及び檀信徒

高座説教 藤本静潤師「日蓮聖人御一代」

○令和7年1月23日

第35回 研修会

講師 立正大学名誉教授・中尾堯文師

日蓮宗本山・妙覚寺並びに顕本法華宗総本山・妙満寺にて日蓮大聖人御真筆のお曼荼羅(妙覚寺所蔵4幅、妙満寺所蔵1幅)を拝見し、講師による解説

○3月28日 第27回本山巡りバスツアー(予定)

参拝寺院 法華宗(真門流) 総本山・本隆寺

顕本法華宗活動報告

インド旅行手記

10月25日(金)〜11月1日(金)の6泊8日間、顕本法華宗宗務院後援、総本山妙満寺主催の「仏舎利大塔建立五十周年記念・インド仏跡巡拝と世界遺産を巡る旅」が開催された。

妙満寺の仏舎利大塔は、釈尊成道の聖地に建つインド・ブツダガヤ大塔にその姿を倣い、写経奉納の浄財によって昭和48年に建立された。「釈尊一仏の御教えにかえる」という顕本法華宗の教義の象徴として、洛北岩倉の総本山境内に聳え立っている。

折しも未曾有の円安によって旅費が高騰したことが影響し、僧員4名・檀信徒3名と参加者は少なかつたが、ご成道の地「ブツダガヤ」をはじめ、初転法輪の地「サルナート」、ご入滅の地「クシナガル」などの霊蹟を巡拝して報恩法要を奉修した。法華経説法の聖地「ラージギル(霊鷲山)」では暁天法要を修行し、昇る朝日に向かって声高らかにお題目を唱和した。

参加者一同、病氣・けがもなく8日間の旅程を無事に終え、法悦のうちに帰国した。



真世界文化研究会機関誌『師子王』紹介

宗教法人国柱会は、その創立者である田中智学をルーツに持つ二団体、立正教団(日本国体学会)・立憲養正会と共同で、日蓮主義教学研究機関「真世界文化研究会」を設立しました。

本研究会の目的は、現代人類社会が直面する様々な危機を克服して、真の世界平和(仏国土・真世界)を実現させるために、田中智学が残した「日蓮教学」「日本国体学」を、現代の若い世代に引き継ぐことにあります。

本研究会の機関誌『師子王』の第一号は発起人による論考が中心となりましたが、執筆・研究活動について将来的には、三団体に所属する人間だけでなく、広く宗門からの参加の呼びかけを考えております。

A5版並製268頁
定価2200円(税込み)
発行 真世界文化研究会
発売 展転社



訃報

門下連合会顧問

丹治日遠猥下御遷化

門下連合会顧問、丹治日遠猥下が去る令和6年9月23日に遷化された。世壽84歳。昭和37年に諸佛山佛眼寺住職に就任。平成2年に本山要法寺大学頭に就任。平成25年には本山要法寺第52祖貫首に就任され、同年より日蓮本宗管長を務められた。

法華三部經大講義

渡邊寶陽 著
監修 財団法人「法華会」
編集・発行 (株)日蓮宗新聞社

本刊行は小林一郎・久保田正文両先生の『法華経大講座』の精神を引き継ぎ、日蓮聖人が読まれた立場で解説した法華経全巻と開經・結經の要点を概説しています。初学の読者にも容易に理解出来るよう配慮した、やさしい「法華経理解の入門書」です。

- 【第1巻】202頁 開經から法華経へ開經『無量義經』
 - 【第2巻】518頁 『妙法蓮華経』序品第一〜信解品第四
 - 【第3巻】446頁 薬草喻品第五〜安樂行品第十四
 - 【第4巻】455頁 從地涌出品第十五〜普賢菩薩勸発品第二十八
 - 【第5巻】165頁+全文検索用USB 結經『仏説観普賢菩薩行法経』文字検索対応PDFデータ(索引に替えて)
- ※引用経文(訓読)校訂協力 佐世保本興寺 松本玄経・岩永泰賢&普賢会・九州教化センター各聖



A5判 ハードカバー・ケース入り ※セット内容イメージ



五巻には全索引に替えて全文PDFを収納したUSBをセット

全5巻セット 20,900円(税込・送料別)



各派・教団・短信

日蓮本宗

◆日蓮本宗 前々管長・本山要法寺第51祖貫首・嘉儀日有上人が令和6年2月13日に法寿96歳にて遷化。同年5月22日に本山葬が執り行われた。昭和61年の貫首就任から平成25年の退任まで27年間に及ぶ在位中に、本山要法寺本堂・開山堂大屋根修復・法宝蔵建立・鐘楼全面改修などの諸事業を行う。

本門法華宗

◆10月12日、大本山妙蓮寺(別所日山貫首)に於いて、宗祖日蓮大聖人御会式法要を奉修。

国柱会

◆令和6年10月1日、月旦大國禱。8日、日蓮聖人門下連合会常任理事会(於、日蓮宗宗務院)に、森山真治常任理事出席。10日、佐渡法難会慶讃法要。12日、日蓮聖人御建夜法要。池上大坊本行寺並びに智境院師墓、有志参拝。13日、日蓮聖人鶴林会報恩大法要。17日、恩師忌。賽主以下本部職員、妙宗大靈廟常勤給仕。20日、妙宗大靈廟例月供養会。25日、身延輪番先発隊出向。26日、第57回身延大祖廟輪番給仕国柱会奉仕団、27日まで開催。

法華宗(真門流)

◆10月8日、総本山本隆寺に於いて、秋季学林開講。

◆10月12日、13日、総本山本隆寺に於いて、御会式法要奉修。

◆11月9日、10日、総本山本隆寺に於いて、「東山未生流いけばな展」開催。

◆11月1日、月旦大國禱。3日、明治節慶讃法要。賽主明治神宮代表参拝。5日、申孝園口一タスヴィラ芋煮会。9日、本部事務局監査。11日、小松原法難会慶讃法要。13日、全国中智学先生御建夜法要。式後、追憶の集いを開催。17日、恩

◆6月22日、門下本山会主伴会 当番日蓮本宗本山要法寺。

◆6月中旬、全門連身延理事会(身延山久遠寺)会長、理

◆12月4日、久保木日將院下、第142代法華宗管長推戴式を奉修(於、大本山光長寺、就任日:11月13日)

◆12月8日、法華宗サンフランシスコ仏教会、新北米開教師第11世平島祐龍師就任式を奉修(於、アメリカ・カリフォルニア州、法華宗サンフランシスコ仏教会)

◆11月12日、大本山妙蓮寺に於いて、御開山日像菩薩御報恩法要並びに三師会・歴代上人年忌法要を奉修。

◆12月1日、月旦大國禱。7日、申孝園口一タスヴィラ入居者先亡諸霊位合同慰霊祭。10日、田中芳谷先生第52遠忌法要。15日、妙宗大靈廟例月供養会。中央同志憶年會開催。26日、真世界文化研究会機関誌編集委員会。31日、福茶の会。送旧迎新式(除夜法要)。(森山真治)

◆12月1日、全門連京都理事会(日蓮宗大本山本願寺)。

◆12月18日、理事会(ホテル本能寺)行事報告、会計報告の件。

◆12月22日、門下本山会主伴会 当番日蓮宗本山要法寺。

◆12月24日、会計監査(日蓮宗京一宗務所)

◆1月24日、新年理事会(ホテル本能寺) 会長瀬川日照院下、副会長岩崎日求院下、理事長小田和幸師、副理事長西尾弘道師。

◆2月16日、総会(日蓮宗本山本法寺)

◆同日、御降誕会(日蓮宗本山本法寺) 導師本法寺貫首瀬川日照院下、講師日蓮本宗本山要法寺貫首岩崎日求院下。

◆3月5日、理事会(日蓮宗京一宗務所) 立教開宗会の件、夏季大学の件。

◆4月28日、立教開宗会(比叡山横川定光院) 導師日蓮宗本山本法寺貫首瀬川日照院下、講師法華宗布教師、横川中堂等観光。

◆6月2日、理事会(日蓮宗京一宗務所) 夏季大学の件、御会式の件。

◆8月30日、夏季大学(ホテル本能寺) 講師日蓮宗本山本宗祖旧師道善房750遠忌記念法華宗房総団参を実施。

◆2月13日、興隆学林専門学校後期授業開始

◆3月5日、興隆学林専門学校令和6年度卒業式

◆3月11日、東日本大震災慰霊法要(於、宗務院)

◆3月14日、第35回法華宗教学研究発表大会(於、キャンパスプラザ京都)

◆4月1日、法華宗宗会議員就任。任期は令和11年3月31日まで

◆4月9日、興隆学林専門学校令和7年度入学式

◆4月11日、千鳥ヶ淵戦没者慰霊法要

◆4月9日、興隆学林専門学校令和7年度入学式

◆4月11日、千鳥ヶ淵戦没者慰霊法要

◆4月1日、法華宗宗会議員就任。任期は令和11年3月31日まで

◆4月9日、興隆学林専門学校令和7年度入学式

◆10月12日、大本山清澄寺で3月16日、日蓮聖人恩師・道善御坊第750年報恩法要を営む予定。

◆身延山久遠寺で古式豊かな「御年頭会」が1月13日に行われ、祖師堂で年頭会法要、法要後には境内で「曳馬式」が行われた。

◆11月16・17日、法華宗連絡協議会「統合学院(後期)」を当宗が当番となり宗務院に於いて、対面・オンライン併用にて開講。講師は興隆学林専門学校三浦和浩教授、対面16名、オンライン13名聴講。

◆12月4日、久保木日將院下、第142代法華宗管長推戴式を奉修(於、大本山光長寺、就任日:11月13日)

◆12月8日、法華宗サンフランシスコ仏教会、新北米開教師第11世平島祐龍師就任式を奉修(於、アメリカ・カリフォルニア州、法華宗サンフランシスコ仏教会)

◆11月5日、オンラインにおいて第2回全国布教講習会が開催された。講習会では佐藤信頭先生(佐藤葬祭代表)による「葬祭会社からみる善い葬儀、善い僧侶」実例をまじえて、木村中一先生(身延山大学教授・日蓮宗法養寺)による「日蓮聖人のおこぼれ」現代に生きる我われを導く祖師のことば」と題する講義が行なわれた。

◆2月17日、オンラインにおいて第2回教学研究所公開研究会が開催された。児玉常優師(千葉・東福寺)による「本宗宮谷檀林における『四教集解』、尾崎恕信師(広島・妙詠寺内)による「日本人の宗教観と大曼荼羅」、妙塔学林長・桑村信慶師(京都・法光寺)による「大乘經典における変成男子説の一考察」と題する研究発表が行われた。最後に講演として、東京大学大学院教授・荻輪顕量先生による「止観の変遷―初期と大乘の異同―」と題する講義が行われた。

◆11月15日、学林教授会が宗務院において開催された。

◆12月2日、3日、宗務院において新任職・学生・沙弥合同研修会が開講された。教学だけでなく、講師の体験を交えた布教活動の実践についての講義を受け、新任職は先輩教師の実体験に基づいた心得を中心に研鑽に励んだ。(竹内敬雅)

◆9月29日、雅楽練習会が宗務院において行われた。

◆11月11日、布教研究所報告編集会議が宗務院において開催された。

◆11月14日、別院巢鴨本妙寺において研究発表会が開催された。この発表会は、宗内全教師を対象に発表者を募集し、本宗の教学・教学史・

◆2月17日、オンラインにおいて第2回教学研究所公開研究会が開催された。児玉常優師(千葉・東福寺)による「本宗宮谷檀林における『四教集解』、尾崎恕信師(広島・妙詠寺内)による「日本人の宗教観と大曼荼羅」、妙塔学林長・桑村信慶師(京都・法光寺)による「大乘經典における変成男子説の一考察」と題する研究発表が行われた。最後に講演として、東京大学大学院教授・荻輪顕量先生による「止観の変遷―初期と大乘の異同―」と題する講義が行われた。

◆11月15日、学林教授会が宗務院において開催された。

◆12月2日、3日、宗務院において新任職・学生・沙弥合同研修会が開講された。教学だけでなく、講師の体験を交えた布教活動の実践についての講義を受け、新任職は先輩教師の実体験に基づいた心得を中心に研鑽に励んだ。(竹内敬雅)

◆9月29日、雅楽練習会が宗務院において行われた。

◆11月11日、布教研究所報告編集会議が宗務院において開催された。

◆11月14日、別院巢鴨本妙寺において研究発表会が開催された。この発表会は、宗内全教師を対象に発表者を募集し、本宗の教学・教学史・

◆2月17日、オンラインにおいて第2回教学研究所公開研究会が開催された。児玉常優師(千葉・東福寺)による「本宗宮谷檀林における『四教集解』、尾崎恕信師(広島・妙詠寺内)による「日本人の宗教観と大曼荼羅」、妙塔学林長・桑村信慶師(京都・法光寺)による「大乘經典における変成男子説の一考察」と題する研究発表が行われた。最後に講演として、東京大学大学院教授・荻輪顕量先生による「止観の変遷―初期と大乘の異同―」と題する講義が行われた。

◆11月15日、学林教授会が宗務院において開催された。

◆12月2日、3日、宗務院において新任職・学生・沙弥合同研修会が開講された。教学だけでなく、講師の体験を交えた布教活動の実践についての講義を受け、新任職は先輩教師の実体験に基づいた心得を中心に研鑽に励んだ。(竹内敬雅)

◆9月29日、雅楽練習会が宗務院において行われた。

◆11月11日、布教研究所報告編集会議が宗務院において開催された。

◆11月14日、別院巢鴨本妙寺において研究発表会が開催された。この発表会は、宗内全教師を対象に発表者を募集し、本宗の教学・教学史・

Table with columns: 年月日, 氏名, 宗派, 門連役職. Lists various members and their roles across different dates.

▼人事(事務局への連絡日を含む)

◆2月17日、オンラインにおいて第2回教学研究所公開研究会が開催された。児玉常優師(千葉・東福寺)による「本宗宮谷檀林における『四教集解』、尾崎恕信師(広島・妙詠寺内)による「日本人の宗教観と大曼荼羅」、妙塔学林長・桑村信慶師(京都・法光寺)による「大乘經典における変成男子説の一考察」と題する研究発表が行われた。最後に講演として、東京大学大学院教授・荻輪顕量先生による「止観の変遷―初期と大乘の異同―」と題する講義が行われた。

◆11月15日、学林教授会が宗務院において開催された。

◆12月2日、3日、宗務院において新任職・学生・沙弥合同研修会が開講された。教学だけでなく、講師の体験を交えた布教活動の実践についての講義を受け、新任職は先輩教師の実体験に基づいた心得を中心に研鑽に励んだ。(竹内敬雅)

◆9月29日、雅楽練習会が宗務院において行われた。

◆11月11日、布教研究所報告編集会議が宗務院において開催された。

◆11月14日、別院巢鴨本妙寺において研究発表会が開催された。この発表会は、宗内全教師を対象に発表者を募集し、本宗の教学・教学史・